

# 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要と今後の取組について

海南市立海南中学校

平成30年4月17日（火）に中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」における調査と本校生徒の調査結果の概要は以下のとおりとなっています。今後は、本調査結果を踏まえ、学習指導の一層の工夫・改善を行うとともに、一人ひとりの生徒の学力向上に向けた取組をさらに進めていきます。

## I. 調査の概要（文部科学省、国立教育政策研究所資料から）

### 1. 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査の内容

#### ○教科に関する調査（国語、数学、理科）

##### ・主として「知識」に関する問題（A）

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

##### ・主として「活用」に関する問題（B）

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

※ 理科に関しては、主に「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

#### ○質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

- ### 3. 調査結果の解釈等に関する留意事項
- 本調査は、幅広く生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施していますが、実施教科が国語、数学、理科の3教科であることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一面に過ぎないことに留意することが必要だと考えています。また今回示した数値等は、調査結果のすべてを表すものではありません。

## II. 教科に関する調査の結果

### 1. 国語

学習指導要領の領域等	対象設問数		平均正答率 (%)					
	(問)		本校		県 (公立)		全国 (公立)	
	A	B	A	B	A	B	A	B
話すこと・聞くこと	3	3	78.4	83.3	72.7	75.2	75.2	76.6
書くこと	4	2	78.7	27.3	72.6	29.6	73.9	31.3
読むこと	4	6	82.0	51.8	75.8	50.6	76.7	53.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	1	77.2	42.4	75.5	48.1	76.5	49.2

【全国の平均正答率を上回っている設問の出題趣旨の例（本校平均正答率；全国との差）】

- ◇A・・・古典に表れたものの見方や考え方を理解する（92.6%；+11.3%）
- ◇B・・・全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す（65.2%；+10.6%）

【全国の平均正答率を下回っている設問の出題趣旨の例（本校平均正答率；全国との差）】

- ◆A・・・目的に応じて文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書く（11.8%；-10.5%）
- ◆B・・・文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える（37.9%；-8.0%）

## 2. 数学

学習指導要領の領域等	対象設問数		平均正答率（%）					
	（問）		本校		県（公立）		全国（公立）	
	A	B	A	B	A	B	A	B
数と式	12	4	84.2	62.5	73.7	50.7	71.1	51.4
図形	12	3	74.9	53.0	68.4	45.6	69.1	46.7
関数	8	3	70.5	57.1	55.9	50.0	55.5	52.8
資料の活用	4	4	75.0	41.3	64.8	35.0	63.5	38.0

【全国の平均正答率を上回っている設問の出題趣旨の例（本校平均正答率；全国との差）】

- ◇A・・・数量の大小関係を不等式に表すことができる（77.3%；+35.8%）
- ◇B・・・事柄が成り立つ理由を，構想を立てて説明することができる（60.6%；+23.1%）

【全国の平均正答率を下回っている設問の出題趣旨の例（本校平均正答率；全国との差）】

- ◆A・・・ひし形は，線対称な図形であり，点对称な図形でもあることを理解している（57.6%；-9.5%）
- ◆B・・・該当する設問なし

## 3. 理科

学習指導要領の分野等		対象設問数 （問）	平均正答率（%）		
			本校	県（公立）	全国（公立）
第1分野	物理的領域	7	81.7	72.1	74.4
	化学的領域	8	74.1	63.9	65.0
第2分野	生物的領域	6	80.3	70.9	72.5
	地学的領域	7	63.5	56.3	57.8

【全国の平均正答率を上回っている設問の出題趣旨の例（本校平均正答率；全国との差）】

- ◇・・・シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し，台風の進路を決める条件を指摘できる（71.6%；+19.3%）

【全国の平均正答率を下回っている設問の出題趣旨の例（本校平均正答率；全国との差）】

- ◆・・・緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる（77.6%；-0.9%）

### III. 生徒質問紙調査の結果（概要）

肯定的な評価をした生徒の割合（％）

	質問事項	本校割合 (%)	本年度 全国との差	H29年度 全国との差
数・理に対する 関心・意欲・態度	数学の勉強は大切だと思いますか。	95.5	+11.9	+0.7
	理科の勉強は大切だと思いますか。	81.8	+11.2	H29年度は この質問なし
	今回の数学の問題で言葉や数で答えたり、式を使って説明する問題について、最後まで書こうと努力しましたか。	96.9	+1.8	+6.7
	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。	98.4	+2.7	H29年度は この質問なし
家庭学習・読書	学校での授業時間以外での学習時間が平日は2時間以上である。(塾・家庭教師含む)	34.9	-1.5	-5.1
	学校の授業時間以外に、読書時間は平日は1時間以上である。	10.6	-4.2	H29年度は この質問なし
学校での授業	1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	93.9	+25.2	-23.4
	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	68.2	-5.6	H29年度は この質問なし
基本的な生活習慣	朝食を毎日食べる。	96.9	+5.0	+2.2
	毎日、同じくらいの時刻に寝る。	75.7	+1.5	+1.7
ニュース等に対する関心	新聞を読んでいますか。	34.9	+21.0	+6.3
	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。	83.4	-3.2	-4.8
家庭でのコミュニケーション等	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。	62.1	-13.9	-1.6
社会に対する関心	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。	53.0	-6.3	+2.9
自尊感情 規範意識	自分にはよいところがあると思いますか。	71.2	-7.6	-10.1
	学校の規則を守っていますか。	97.0	+1.9	+3.2

#### 【全国の割合(%)との差が著しい質問事項（本校割合；全国との差）】

◇今住んでいる地域の行事に参加していますか。（81.8%；+36.2%）

◆家で、学校の授業の予習・復習をしていますか（39.4%；-15.8%）

IV. 今後の取組について 本校では、例年2学期に「全国学力・学習状況調査の結果分析と改善点」と題した研修会を校内で実施しています。具体的には、国語科教員・数学科教員・理科教員・3学年担当教員等がそれぞれ、本調査の国語 A・B、数学 A・B、理科、生徒質問紙調査の結果分析を実施し、学習指導の工夫・改善等を全教職員で共有するものです。以下は、今回の結果からまず指導のポイントとする点です。

- 国語
  - ・ 作文指導の際には、順序立てた構成をふまえ、最後には推敲を行わせることを徹底する。
  - ・ 新聞等を資料とした教材づくりに取り組み、それを授業の中で活用する。
- 数学
  - ・ 数学における語句の正しい意味の理解を深めるよう指導する。
- 理科
  - ・ 実験観察の際の技能面を向上させるため、できるだけ多くの生徒に器具等を扱わせる。
- 質問紙調査
  - ・ 予習、復習を含めた家庭学習を充実させる。
  - ・ 物事をやり遂げたり達成したりするような経験を多く持たせる。
  - ・ 読書習慣が身に付くような図書館教育について推進する。